

## 江戸時代の代表的な財政改革の比較

### 帆足万里

■出典：フリー百科事典『ウィキペディア（Wikipedia）』

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%B8%86%E8%B6%B3%E4%B8%87%E9%87%8C>

帆足万里（ほあしばんり、安永 7 年 1 月 15 日（1778 年 2 月 11 日）－ 嘉永 5 年 6 月 14 日（1852 年 7 月 30 日））は、江戸時代後期の儒学者。父は豊後国日出藩家老の帆足通文。字は鵬卿。号は愚亭など。

1791 年（寛政 3 年）万里が 14 歳の時、脇愚山に学び、大阪の中井竹山・京都の皆川淇園にも学んぶ。その後日出藩の藩校の教授となり、1832 年（天保 3 年）日出藩家老となり財政改革に行った。致仕した後、私塾西?精舎（せいえんせいしゃ）を開いて子弟の教育にあたっている。一方で、自然哲学者三浦梅園の影響により窮理学に関心を持ち、40 歳頃からオランダ語を修得して、ヨーロッパの自然科学を学んだ。

万里の著書「窮理通（きゅうりつう）」は日本における自然科学史に画期的な文献である。その他著書として独自の経世論を著した「東潜夫論（とうせんぷろん）」がある。

三浦梅園、広瀬淡窓と共に豊後三賢の一人と言われる。